

1

環境に配慮した取組の必要性

1-1 地球温暖化とは

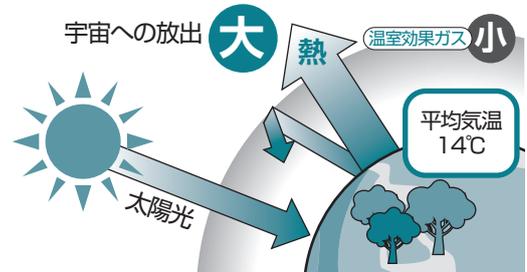
地球温暖化は人類の生存基盤に関わる環境問題であり、将来世代に深刻な影響を与えるものです。地球温暖化が、主に人間の活動が生み出す温室効果ガスによってもたらされていることは、もはや疑う余地がないといわれています。

地球温暖化のメカニズム

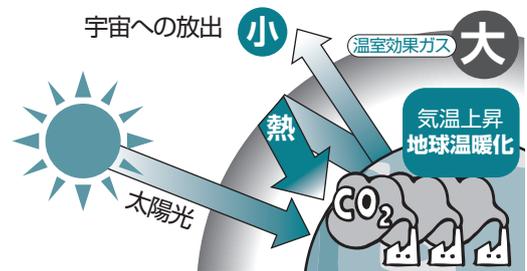
現在の地球の平均気温は約14℃に保たれています。これは、二酸化炭素や水蒸気などの「温室効果ガス」のはたらきによるものです。もし、温室効果ガスが全く存在しなければ、地球の平均気温は-19℃になるといわれています。このように、温室効果ガスは生物が生存するために不可欠なものです。

しかし、1750年ごろから始まった産業革命以降、人間は石油や石炭などの化石燃料を大量に燃やして使用することで、大量の二酸化炭素を排出するようになりました。このため、温室効果ガス、特に二酸化炭素が増えすぎて、大気中に熱がこもり、地表面の温度が上昇しています。これが「地球温暖化」です。

■温室効果ガスの量がちょうどよい場合



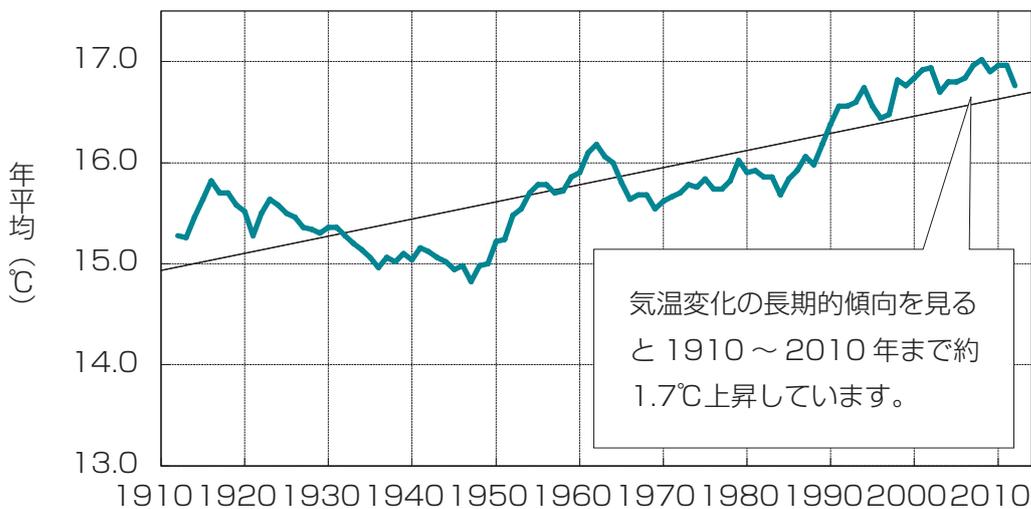
■温室効果ガスの量が多すぎる場合



IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の第5次評価報告書によると、1880年から2012年の間で世界の平均気温は0.85℃上昇しました。また、将来の予測では21世紀末までに世界の平均気温は最大で4.8℃上昇すると予測されています。

地球温暖化が進むことで、異常気象の増加、海水面の上昇、生態系の変化など、私たちの生活や地球環境に深刻な影響を与えると予測されています。

徳島市の年平均気温の推移（1910-2010）



徳島地方気象台の観測によると、徳島市の年平均気温は100年で約1.7℃上昇しています。

1-2 徳島市の温室効果ガス排出量

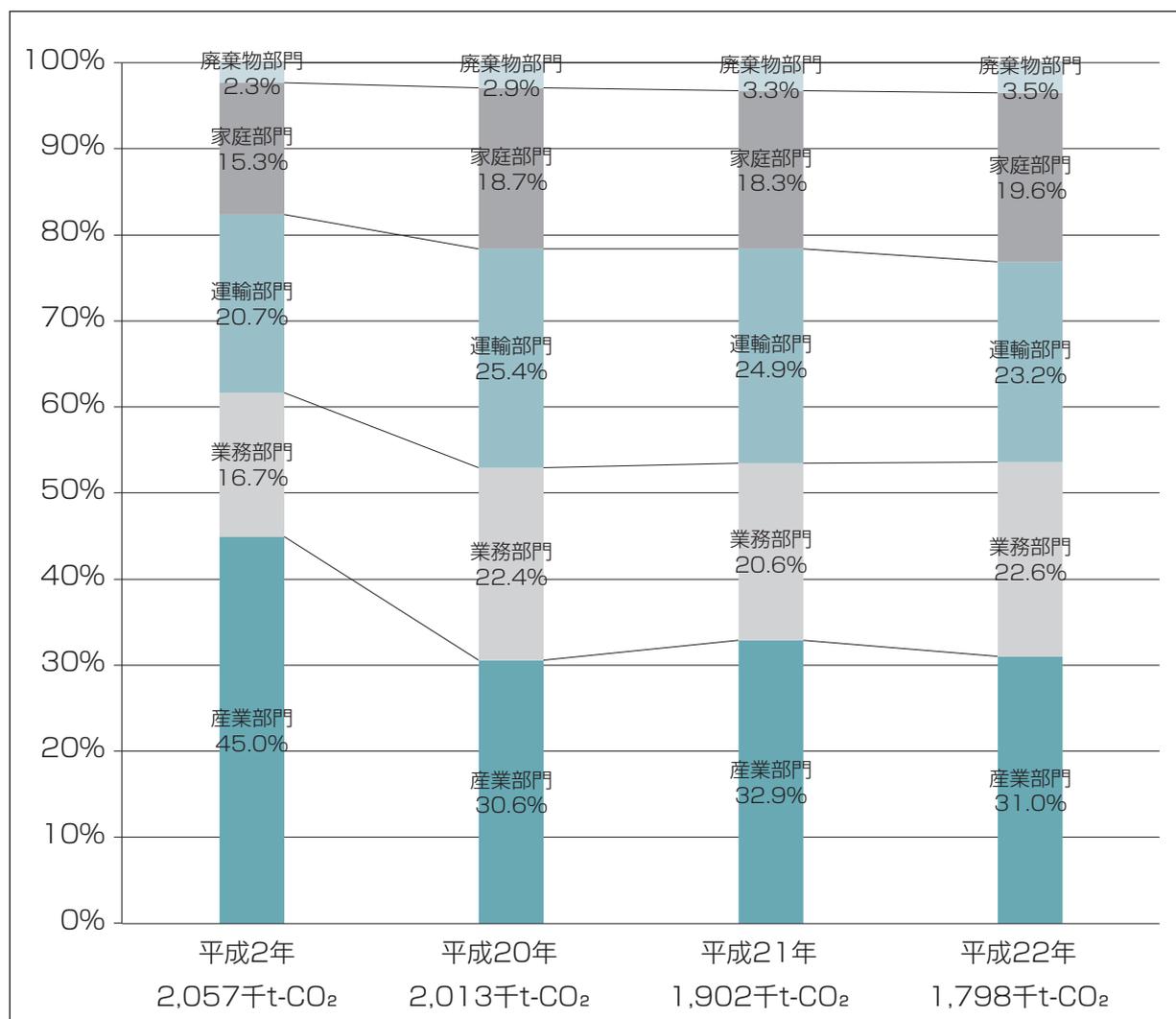
徳島市域から排出される温室効果ガスの総排出量は187万8千トン（平成22年度実績）で、このうち二酸化炭素（179万8千トン）が総排出量の約96%を占めています。

平成22年度の徳島市から排出される二酸化炭素について部門ごとに見てみると、**産業部門（工場など）は約31%、業務部門（オフィス・店舗など）は約23%となっており、事業所から排出される二酸化炭素は、市域から排出される二酸化炭素の約54%を占めています。**

（単位：千トン-CO₂）

	平成2年	平成20年	平成21年	平成22年
二酸化炭素	2,057	2,013	1,902	1,798
産業部門	925	616	626	558
業務部門	344	450	391	407
運輸部門	426	512	473	418
家庭部門	314	376	349	353
廃棄物部門	48	59	62	63
二酸化炭素以外のガス	83	81	85	80
温室効果ガス（合計）	2,139	2,094	1,987	1,878

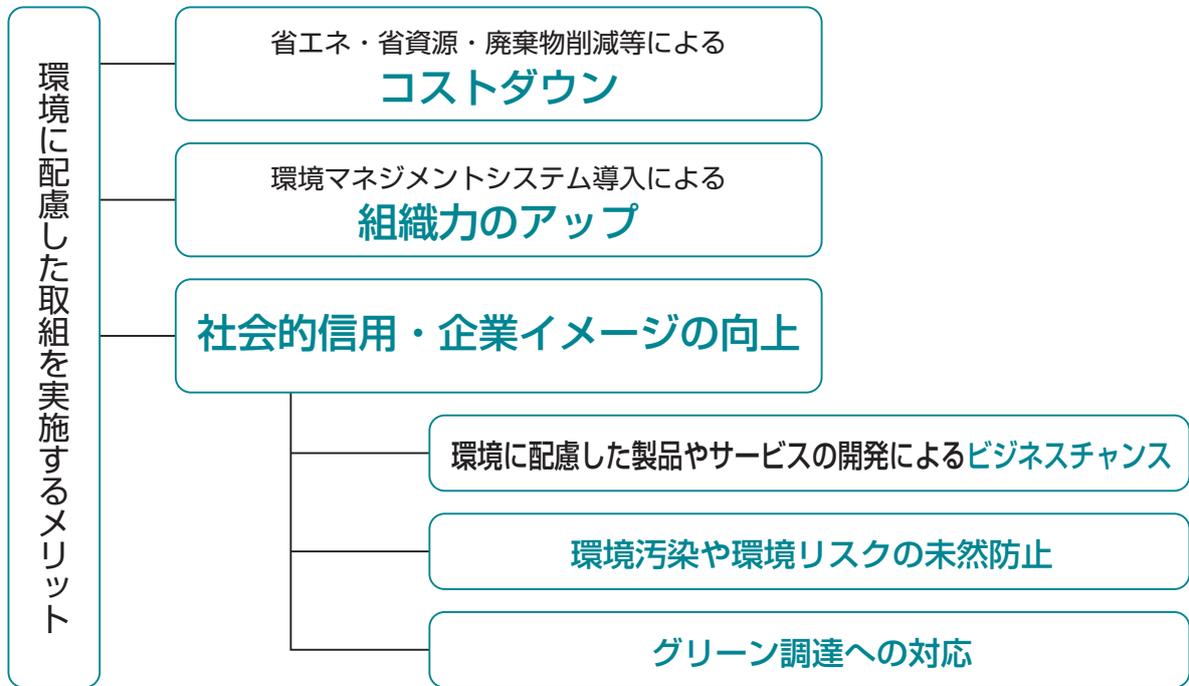
徳島市における分野別二酸化炭素排出量内訳



1-3 事業所で環境に配慮した取組を実施するメリット

事業所において、製品、サービスを含むすべての事業活動の中で、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減等の環境への取組を自主的に進めていくことが求められています。

事業者が環境に配慮した取組を積極的に実践することは、次のようなメリットがあります。



メリット1 コストダウン

省エネルギー、省資源、廃棄物の削減等に取り組むことは、主要な経費のコストダウンにつながります。

<p>省エネルギー に取り組むと</p>	<p>電気料金、燃料などのエネルギー費用の削減 エネルギーの節約や効率的な利用が可能になります。</p>
<p>省資源 に取り組むと</p>	<p>原材料等のコストの削減 製品の小型・軽量化、包装の簡素化、水使用量の削減等に取り組むことで、原材料費や水道料金が削減できます。</p>
<p>廃棄物の削減 に取り組むと</p>	<p>歩留りの向上、廃棄物処理費用の削減 リデュース、リユース、リサイクル（3R）を推進することで、事業所から出る廃棄物量を削減できます。生産工程で不良品を出さない取組や販売で売れ残り商品を少なくする取組は、歩留りの向上につながります。</p>

メリット2 組織力のアップ

事業所で環境に配慮した取組を推進することは、従業員の目標管理や問題点の改善意識の定着に役立ち、組織力のアップにつながります。

環境に配慮した取組
を推進すると

環境マネジメントによる効果により組織力アップ

- ・ 事業所の全員で取り組む
- ・ 取組の目標や目標達成手段が明確になる
- ・ 決められたルール（法令順守・社内基準）に基づいて行動できる
- ・ 取組の結果を定期的に確認、評価できる
- ・ 目標が達成できなかった場合は、原因を明らかにできる
- ・ 日々の取組を積み重ねることで、年々継続的に改善できる

メリット3 社会的信用・企業イメージの向上

環境に配慮した経営は、企業の社会的責任であるとの意識が一般化するとともに、取引先に対しても環境配慮を求める企業が増えてきています。

事業所の環境への取組をアピールすることで、取引先、消費者、地域社会、行政機関等からの信頼性が向上し、事業者のイメージ、ブランド力のアップにつながるとともに、取引先からの要請に応えることで、継続的な取引につながります。



地球温暖化に対する意識・省エネルギー行動についてのアンケート結果（抜粋）①

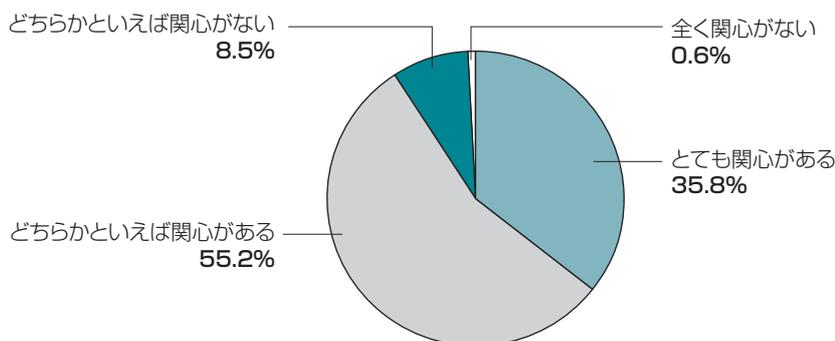
【アンケート実施概要】

徳島市では、徳島市域における温室効果ガス排出量の削減を目指し、総合的かつ計画的に地球温暖化対策を推進するための計画である「第2次徳島市地球温暖化対策推進計画」の策定のための作業を進めています。その中で、検討資料として、市民・事業者に地球温暖化に対する意識や省エネルギー行動についてアンケートを実施しました。

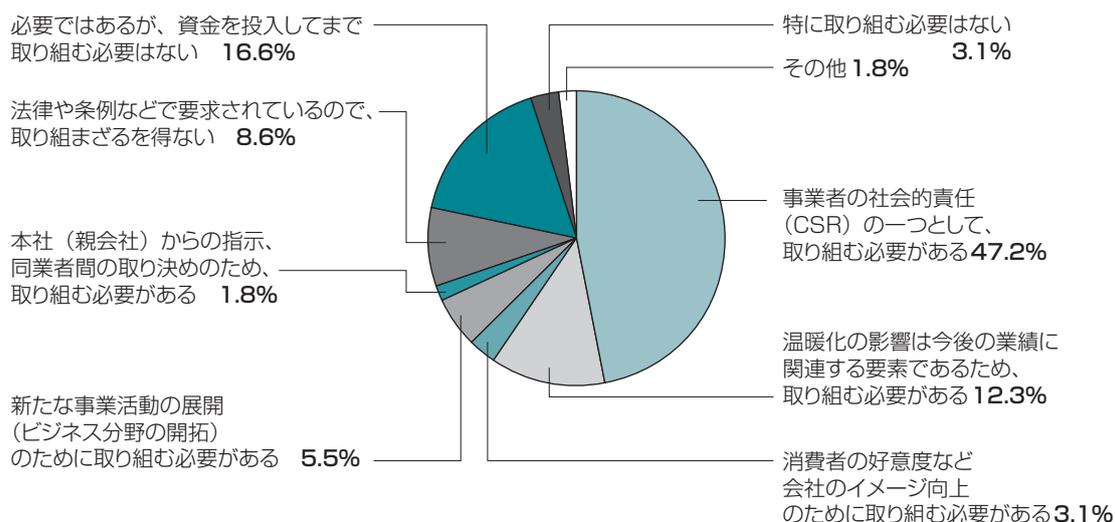
- ・実施期間 平成25年2月
- ・調査対象 事業者 徳島市内に本店・支店・営業所を有する事業者500社
- ・回収率 34.1%

事業者アンケートの集計結果（抜粋）

地球温暖化問題の関心度について



事業活動における地球温暖化防止の取組についてどのようにお考えですか



地球温暖化に関心があり、温暖化対策に取り組む必要性を感じている事業者が多いんだね。

12ページに続く